

# 「協創」によるまちづくりと、いこま会議の意義



生駒市長 小紫 雅史



環境モデル都市 いこま

# 目次

---

1. まちづくりの基本的方向性
2. 「協創」によるまちづくりの実績
3. いこま会議の概要と意義
4. いこま会議を受けた新しい動き

# 1. まちづくりの基本的方向性

# 1. まちづくりの基本的方向性

「協創」 ➡ 市民と行政の協働により具体的な成果を創造する。

生駒市の最大の財産は、全国に誇るべき「市民力」

- ・マイバック持参率42%（全国平均28%） → 今はさらに↑
- ・太陽光発電の高い普及率6.5%（全国平均4.6%）
- ・市民の定住意向83.9%（全国平均64.7%）  
→ この市民力をさらなる生駒の発展のエネルギーに具体化する

これまで以上の行政による行動・支援 ➡ 市民と共に汗をかく

市民との信頼関係 ➡ 環境施策のみならず「まちづくりの基本」

特に住宅都市のまちづくりでは大切

## 2. 「協創」によるまちづくりの実績

# 2. 「協創」によるまちづくりの実績

## (1) 民間事業者との連携による住替えの促進

空き家となっている戸建て住宅に対し、「住宅団地型既存住宅流通促進モデル事業(国土交通省所管)」の採択を受けた近畿日本鉄道株式会社と連携し、既存住宅の活用・流通の促進に取り組む

### 対象地域

奈良県生駒市真弓・真弓南住宅地および白庭台住宅地

	真弓・真弓南住宅地	白庭台住宅地
最寄駅	学研北生駒駅 (近鉄けいはんな線)	白庭台駅 (近鉄けいはんな線)
分譲開始年	昭和48年	昭和63年
世帯数	1,583世帯	1,334世帯
人口	4,245人	4,117人

住み良さ実感  
生駒バスツアー  
IKOMA BUS TOUR  
参加費 無料 3/15(日) 20人 定員  
人気のカフェでランチして、バスでぐるっとまちめぐり。リフォーム展示場の見学も。生駒を実感できる1日です。  
参加特典  
おべのハルカス  
ハルカス300(車庫付)  
チケットを参加者全員にプレゼント!

「主婦が幸せに暮らせる街」  
ランキング 関西2位!

その人気の秘密は…

大阪難波まで 20分

学童保育は待機なし

公立幼稚園は希望者全員入園

保育園定員増加中

緑豊かで閑静な住宅地

お申し込み方法など、詳しくは

suumo 近鉄不動産 関西

〈お問合せ：奈良県生駒市広報課〉  
0743-74-1111 2/4(水)～3/21(水)19時  
土日祝日 8:30～17:15

## 2. 「協創」によるまちづくりの実績

### (2) 生駒商工会議所と連携したまちの活性化



100円商店街



まちゼミ



まちなかバル

商店街の活性化、女性の起業支援などの協働の取組を推進

## 2. 「協創」によるまちづくりの実績

### (3) ひまわりのつどい

閉じこもりがちな高齢者の生活意欲の向上のため、レクリエーションや手作りの食事を提供することにより、外出の機会を増やし、体力・気力の向上を目指しています。

- 対象：65歳以上の高齢者で、要支援認定者等
- 運営スタッフ：生駒市健康づくり推進員連絡協議会
- H27開催実績：71回、延べ1,338人参加

地域のサロン等7か所でも開催：192人参加



食べる前に頭の体操を！

自宅ではこんなに食べられないのに、皆と一緒になら完食です



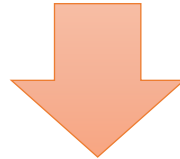
生駒市健康づくり推進員連絡協議会  
のみなさん



## 2. 「協創」によるまちづくりの実績

### (4) もったいない食器市

1人の市民が、不要になった陶磁器をリユース・リサイクルを行うことができないかという問題意識から始まり、地域内での陶磁器の再利用の仕組みを構築  
マスコミ等に取り上げられ、回収量も増えたこと等により1年後、市担当課と協議



毎月1回市内3ヶ所で開催する人気のイベントに成長



## 2. 「協創」によるまちづくりの実績

### (5) リユースびんの普及・啓発

リユースびんの普及啓発活動を行っているNPO「World Seed」と連携してリユースびんの普及啓発に取り組む

- ・市が主催する会議・イベント等でのリユースびん利用を原則化
- ・ペットボトル飲料利用本数を60%削減(平成25年度比)

リユースびん入り大和茶『と、わ(To WA)』を市主催会議で提供。



いこま会議でも提供

## 2. 「協創」によるまちづくりの実績

### (6) 環境マネジメントシステムの運用

平成22年度から市民が目標を設定し、監査するシステムを運用



### 3. いこま会議の概要と意義

# 3. いこま会議の意義①



平成27年5月21日～23日の3日間にわたり開催。

大会テーマは「住宅都市からの挑戦～近未来のライフスタイル」。

期間中延べ2,000名を超える方が参加!



# 3. いこま会議の意義②



19分科会に分かれて活発な議論を展開



- 市民を交えたオープンな議論でまちの課題を共有
- 市民、事業者、行政の協創の取組をさらに活性化

## 4. いこま会議を受けた新しい動き

## 4. いこま会議を受けた新しい動き①

市民とともに進めるごみ減量化(平成32年度までに燃えるごみ半減が目標)

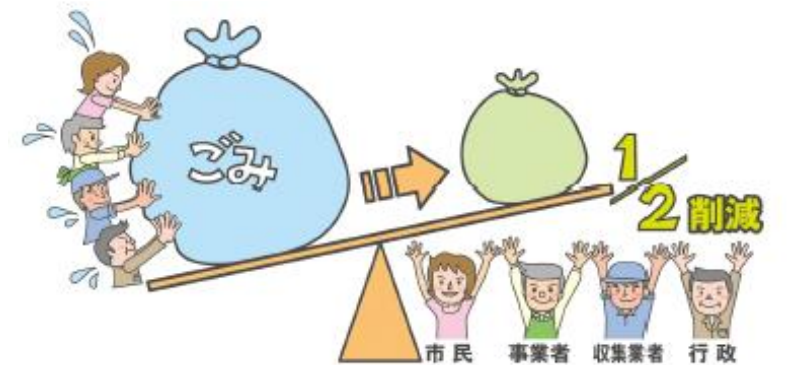
平成27年度からの家庭ごみ有料化は、検討会での議論、

市民主体の「生駒市ごみ半減会議」によるモデル事業の実施・検証などを経て円滑にスタート



平成28年度から「生駒市ごみ減量市民会議」を立ち上げ

- 分別講習や相談会の開催
  - 燃えるごみ減量のPR
  - 市民から、制度や運用の課題の聞き取り、改善案の検討
- など、市民自らが地域に出向いて、さらにごみ減量をめざした取り組みを実践



市民と行政がともに汗を流し、行動する = 一步踏み込んだ協創の実現



# 4. いこま会議を受けた新しい動き②

## 環境基本計画推進会議の取組

エネルギー・自然・まちみち・生活の4分野で市民・事業者・行政が連携組織の更なる活性化と3年後の自立に向けて取組を進める

- ・市内全スーパーとの連携  
→レジ袋有料化から食品ロス削減へ



- ・市民による市民のための  
創エネ・省エネ相談



# 4. いこま会議を受けた新しい動き③

## 市民共同発電所事業

全額市民出資による  
市民共同発電所事業を実施

市民による出資で、70%～80%を調達

二号機(南こども園)

50kW

市民の力で、3箇所(合計150kW)の  
太陽光市民共同発電所が完成

一号機(エコパーク21)

50kW

三号機(小瀬保健福祉ゾーン)

50kW

# 4. いこま会議を受けた新しい動き③

## 市民共同発電所事業

市民共同発電所の収益を市域に還元するエネルギーの地産地消モデルを構築

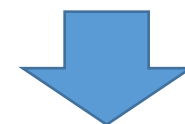
生駒市立南こども園



園舎デコレーションパネルを寄贈



小瀬保健福祉ゾーン 老健施設



パワーコンディショナーを更新(1基寄贈)



# 4. いこま会議を受けた新しい動き④

## 地域エネルギー会社の設立に向けた取組

### 事業の目的

・「低炭素化」「強靱化」だけでなく、「域内資金循環・雇用創出」「地域の魅力・活力向上」によって地域の課題を解決し、「日本一環境にやさしく住みやすいまち」を実現

→ 「日本版シュタットベルケ」の実現  
地域エネルギー会社を核として市民生活の質の向上をめざす。

